

咲き誇る花たちが迎えてくれた

谷川連峰 平標山 1984m

日時：2022年6月19日(日)

ルート：松手山コース～山頂～平元新道周回

参加者：24名



谷川連峰 平標山山頂

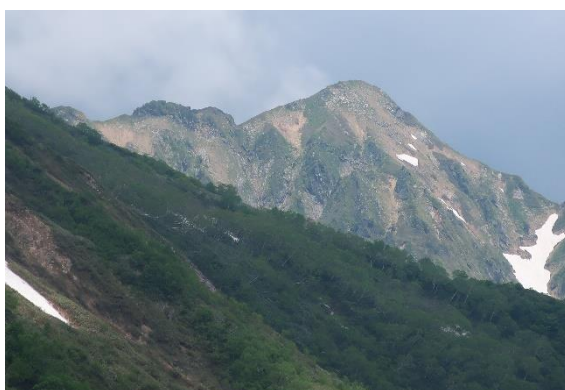
天気予報は13時頃から雨模様、14時頃から雷の予報とチョット心配な天気である。当初計画は平元新道経由で山頂を目指す予定であったが、稜線上で雷に遭ったらこの人数では逃げ場も無いことから松手山経由で登り、午後には平標山乃家を越えれば安全と判断しルート変更とした。駐車場管理者からは花々は最高の時であり、昨日の車両は550台の登山者で賑わったとのこと。今日も大勢の登山者で賑わっている。

7時前に全員集合、少し早い自己紹介の後、新潟県山岳協会遠藤副会長から挨拶を頂き、2班に分かれて出発とした。1班のリーダーは井口(光)さん、2班のリーダーは松井さんと標高1411mまでの急斜面の階段をゆっくり歩行でリード頂き鉄塔で休憩、熱中症予防に水分補給するよう声掛けした。ここから更に急斜面を登ると大きな樹木もなくなり森林限界は直ぐと思うと9時15分、松手山に着くことが出来た。松手山からは後方にガスの切れ間から苗場山、県境には群馬県境稜線トレイルやピークが特徴の稲包山、正面には大きな山容の平標山の一ノ肩と右寄りに山頂を見ることが出来た。一ノ肩への斜面には大勢の登山者が行列を作って登っている。7合目を過ぎるといよいよ花の出番である。最初にハクサンチドリ、ヨツバシオガマ、笹原にシラネアオイとさらに上るとハクサンイチゲの群落、ピンク色のコイワカガミ、タテヤマリンドウ、オノエランと沢山の花たちが迎えてくれた。一ノ肩を過ぎれば傾斜も緩く平坦な道となったが山頂は怪しい雲行きであり、仙ノ倉方面には雲が湧き上がっている。みんな元気に山頂に11時到着、雲行きが怪しいため、花々の群生地は仙ノ倉方面に5分程降りる花畑と案内し、11時15分集合とした。群生地はハクサンコザクラ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンパイと奇麗に咲き誇っていたが、天気が崩れる前に下山

と思うとノンビリしては入られない。11時15分全員集合、お昼は平標山乃家とし、記念写真を撮り、下山開始とした。平標山乃家までは笹原の中に木段が続いている。登山道両脇にはシャクナゲが沢山あったがもう終わりなのか、木々の隙間からピンク色の2輪の花、湿地帯のワタスゲ、コイワカガミを観ると直ぐに山の家に着くことが出来た。山頂付近は薄っすらと雲に覆われてきた。ここまで来れば一安心である。40分の休憩の後、ブナや白樺、ダケカンバを眺めながら平元新道登山口に13時30分到着、さらに林道を1時間ほど進み、14時半にみんな元気良く、雨が降る前に駐車場に到着することが出来ました。大勢の参加、ありがとうございました。



一ノ肩への登り



平標山乃家からエビス大黒ノ頭を望む



ハクサンイナゲ



ハクサンゴサグサ



ミヤマキンバイ



沢山咲いていたお花畑

記 渡辺 茂